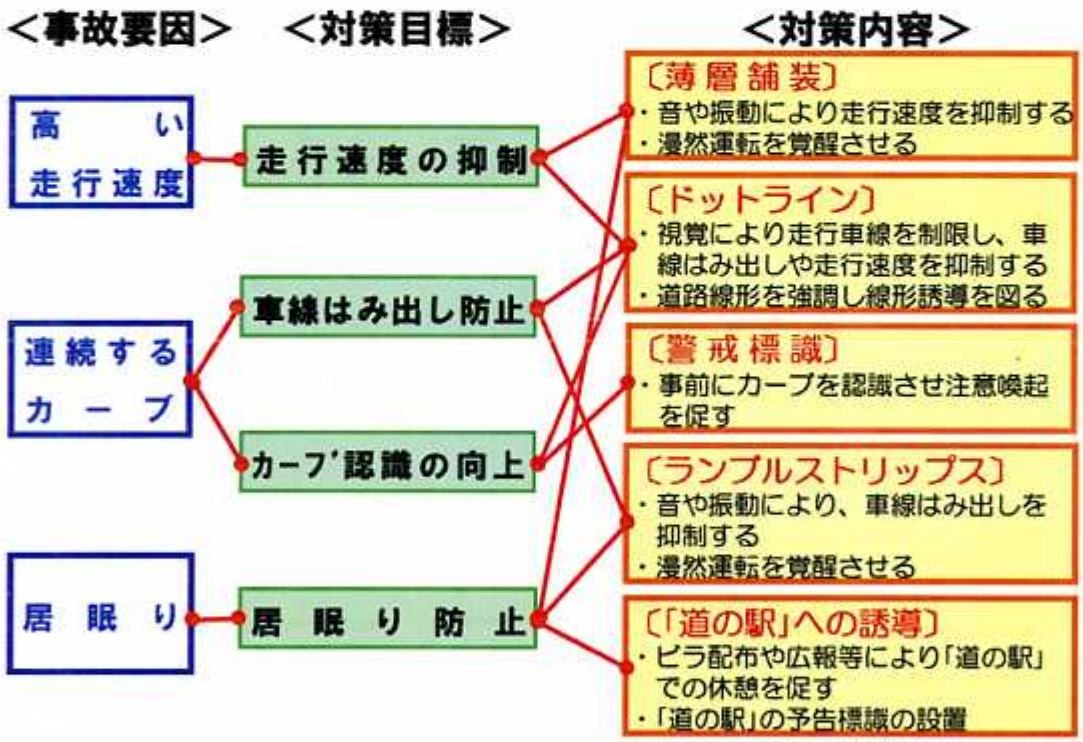




▼死亡事故を報じる新聞記事



「第１回 茂師地区事故対策懇談会」における検討結果





茂師地区における交通事故対策

【薄層舗装】



走行車線の横断方向に凸部を設置し、
車両が走行した際に音や振動を発生させ
走行速度の抑制や漫然運転を覚醒させる。

【ランブルストリップス】



センターライン上に凹型の溝を設置し、
車両が走行した際に音や振動を発生させ
はみ出しの抑制や漫然運転を覚醒させる。

【ドットライン】



走行車線の両側に路面標示を設置し、
走行軌跡を制限することではみ出しや
走行速度の抑制、線形誘導を図る。

【警戒標識】



カーブ手前に警戒標識を設置し、事前に
カーブを認識させ注意喚起を図る。

【交通安全広報活動】



道の駅「たろう」及び「たのはた」において、
ドライバーに道の駅での休憩を促し、安全
運転を呼びかける広報活動を実施。

【案内標識】



既存の「道の駅」の案内標識に一つ先の
「道の駅」の距離標示を付加することで
ドライバーに計画的な休憩を促す。

茂師地区における事故対策フロー

【実施時期】

現地調査
（警察との合同現地調査、走行速度・走行軌跡等の調査）
H17.8～

事故要因分析

事故対策案策定

第1回茂師地区事故対策懇談会
H17.12.12

事故対策決定

事故対策の実施
H17.12月中旬
～H18.1月中旬

対策効果の検証
（事故件数の変化、交通挙動の変化、道路利用者の意識変化）
H18.3月上旬

第2回茂師地区事故対策懇談会
H18.3.23

総合評価